

# 市街地近郊での新たな生活空間 (モデル地区)の形成に向けた さくら団地地区住民説明会の開催について

人口が増え続けているニセコ町ですが、住宅不足・労働力不足が町の課題の一つとなっています。また、農業と観光業を支える豊かな自然環境を守っていくこと、資金の域外流出を防ぎ、地域経済循環を高め町民により還元される仕組みづくりをつくることも、町が持続するために必要といえます。さらに、近年では町内会員の高齢化や未加入者の増加など、地域コミュニティの存続に危機感を持つ町民のみなさんも増えてきました。

町では、これらの課題に対する取組みの一つとして、従前とは異なる新たなコンセプトでの宅地造営として、**市街地近郊での新たな生活空間「NISEKO生活・モデル地区」の形成を計画**し、現在、その事業構想の策定作業を進めています。そのコンセプトは、『エネルギー消費の少ない環境配慮型住宅群を建設することで、環境負荷を軽減するとともに電気代などの域外に出るお金を少なくし、その分を増加する住宅建設費に充てることで地元工務店を介して地元にお金や資産が還元される仕組みを作る』であったり、『モデル地区での暮らしが、本町ゆかりの作家有島武郎の遺訓「相互扶助」が息づき、活発な自治活動が醸成されよう計画段階から取り組む』といったものです。

また、この事業の実施にあたっては、近隣住民のみなさんの生活環境にも配慮したものとなるよう計画していますが、12月に開催した前回の住民説明会に引き続き、今回の説明会でも、現状の計画素案について、主にさくら団地地区住民のみなさんに説明し、意見を伺いたいと考えております。参加は無料、申込みも不要です。多くの方のご参加をお待ちしています。

※前回説明会に参加された方もそうでない方も、ぜひご参加ください。

**日時：平成31年2月10日(日)午後6時30分～**

**場所：ニセコ町民センター 研修室1**

**説明：ニセコ町役場企画環境課**

**(一社)クラブヴォーバン：構想策定業務の受託事業者**

**申込：不要、参加無料**

**問合：ニセコ町役場企画環境課 担当：川埜・山本**

**Tel：0136-44-2121**

**email：jichi@town.niseko.lg.jp**

## ◆SDGs 未来都市ニセコ町、自治体SDGsモデル事業

ニセコ町は、平成30年6月に国からSDGs（下記参照）の達成に向けた優れた提案をする自治体として「SDGs未来都市」に選定（全国29自治体）されました。また、今回の住民説明会で説明する取組みは「NISEKO生活・モデル地区構築事業」として、国から支援（補助金等）が受けられる「自治体SDGsモデル事業」にも選定（全国10自治体）されています。

## ◆SDGs（Sustainable Development Goals）とは

「持続可能な開発目標」と略され、2015年9月の国連サミットで150を超える世界のリーダーによって決められた国際社会共通の目標です。

持続可能な世界を実現するための17の目標（下図参照）が示され、地球上の誰ひとりとして取り残さないことを誓っています。例えば、最初の目標は「1 貧困をなくそう」です。そして、世界共通の計画として、「全世界、全員参加で取り組む（途上国・先進国の分けなく）」、「すべての問題を全部同時に取り組む（すべての問題は関連している、同時並行）」という点などが、その特徴とされています。

この17の多様な目標は、国や政府、企業だけが取り組むべきものではなく、実は日々の私たちの暮らしに関連するものであり、私たち一人ひとりにも密接に関わっているものです。

そして、ニセコ町がこれまで、みなさんと一緒に取り組んできた情報共有・住民参加による自治の実践、景観対策や環境政策、稼ぐ力の強化、地域経済循環などは、まさにSDGsが目指す取組みともいえます。町では今後も、これまでのまちづくりを更に磨きあげ、前に進めていきます。そして、このまちづくりの実践・積み重ねの一つひとつがSDGsの目標達成に貢献する取組み、SDGs未来都市としての取組みであると考えています。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

